

# せったん

北摂・丹波支部

第129号 2010年8月25日

発 兵庫県保険医協会北摂・丹波支部  
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階  
行 TEL078-393-1801 (代) FAX 078-393-1802



市民公開  
企画

## あし かび 映画『葦牙—こどもが拓く未来—』

# 上映会&学習会に70人が参加



講師の篠(えびら)ひとみ先生



キッピーモールに70人が参加(8/8)

三田市でも昨年児童虐待による死亡事件が発生したこと、行政機関等によるネットワークが立ち上げられており、その関係者も多数参加した。参加者からは「命を守るということ、一生懸命子どもたちと関わっている先生方と、一人ひとりの子どもたちの毎

支部では、4年目となった市民公開の映画会に、今年も最近毎日のようにマスコミでも報道されている子どもの虐待問題を取りあげ、多くの虐待された児童が生活している岩手県の児童養護施設「みちのくみどり学園」の取り組みを描いたドキュメンタリー映画『葦牙—あしかび—』を上映した。



◆記録映画『葦牙—あしかび—』

製作：2009年 日本  
時間：113分 監督：小池征人  
児童虐待による子ども達の受難と再生をテーマにしたドキュメンタリー映画。岩手県盛岡市の郊外にある「みちのくみどり学園」で職員たちの暖かなまなざしを受けながら、傷ついた心を再生していく子供たちを通して、社会的養護の現状を描き出す作品。



挨拶をする森下順彦支部長



司会を務める福田俊明先生

「保護者を支えることがどれだけ大切なことか、また、支えることは具体的にどうすることか、声掛け一つでもよく考えて言葉を使わないと余計苦しめてしまうことになるよと分かった。気持ちにはあってもそれを適切に伝え、一緒に子どもを育てていきたいと思った」などの感想が出された。

また、映画上映前の学習会では、加古川市立こども療育センター小児科の篠ひとみ先生が、これまで取り組んでこられた発達障害の子どもや家族との関わりの中で感じたことや家族支援の重要性について講演した。発達障害の早期発見・早期対応の功罪や診断時の家族に対する支援などについて篠先生の小児科医の立場からの報告に「生徒への支援・教育とともに保護者への支援の大切さを痛感しており、参考になる視点がたくさんあった」

### 篠山市の医療をよくする会

## 小児科救急問題で ささやま医療センターと懇談



「篠山市の医療をよくする会」(支部加入)は、7月22日に6月に新病院が完成し移転した兵庫医科大学ささやま医療センターと懇談し、毎週水曜日のみの受け入れとなっている小児科救急の拡充と産婦人科の医師の補充、外来の診察では予約時間と実際の診察時間のズレが数時間に渡っていることなどについて改善を求めた。

懇談には、会から石田宇則代表ほか7人(協会事務局2人)が出席、病院からは佐々木事務部長ほか2人が対応した。今後も定期的に懇談を要請していく予定。

# 第22回支部総会開く

## 記念企画 落語

生演奏の三味線と  
太鼓で迫力満点

北摂・丹波支部は、7月31日に第22回支部総会を開催、記念企画には市民も含めて27人が参加した。

総会議事では、森下順彦支部長が09年度活動のまとめ・10年



森下順彦支部長(右)と議事を務める武中睦美副支部長(左)

度活動方針案を提案、09年度は、初めてのバスツアーや3回目となった市民公開の映画会、感染対策研修会など活発に支部活動を行ってきたことが報告された。また、新年度も引き続き会員のニーズに沿った研究会や地域での渉外団体と連携した活動に取り組んでいくことなどを紹介し、支部活動への協力を求めた。



寿亭茆町(ことぶきていりゆうまち)こと西松央一先生(兵庫区・西松医院)

### 【今後の支部企画】

9/25(土) 午後6時~7時30分

医療安全管理対策研修会

「診療所での医療安全管理対策 ~ヒヤリハットの対応~」

講師:小川 麻由美氏(済生会兵庫県病院)

(三田市・三田市総合福祉保健センター2F)

10/17(日) 午前10時30分~午後1時30分

レクリエーション企画

「バームクーヘン作り」

(神戸市北区・六甲山カンツリーハウス)



11/13(土) 午後6時~8時

研究会「アンチエイジング医療の現状」(仮)

講師:一瀬 晃洋先生(神戸大学医学部附属病院)

(三田市・キッピーモール6F)

12月(土) 午後6時~8時(終了後、懇親会)

医院経営研修会 テーマ「相続税対策」(予定)

(三田市・キッピーモール6F)

※お問い合わせは、078-393-1801・3(平井・黒木まで)



終了後の懇親会は19人が参加し交流を深めた



三味線と唄を披露する山本篤先生(三木市・山本医院)

記念企画は、協会会員でもある寿亭茆町こと西松央一先生(兵庫区・西松医院)をお招きしての「落語」と、併せて山本篤先生(三木市・山本医院)ほか3人のみなさんによる出囃子(三味線・太鼓)や演目間の演奏と唄。支部としては初めて取り組む企画となったが、参加者は西松先生の古典落語に大いに笑い、間近で聞く三味線・太鼓の生演奏の迫力を楽しみ、大変好評だった。



生演奏の出囃子にあわせて西松先生が舞台に登場